

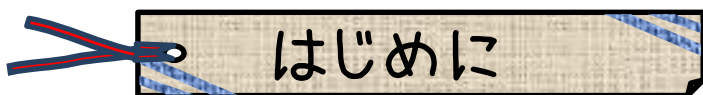
豊川市子ども読書活動推進計画
【豊川市子ども読書活動推進実施計画】

令和2年度～令和6年度
(2020) (2024)



令和2年10月
(随時更新)

豊川市教育委員会
中央図書館



本市の子ども読書活動の推進は、平成28年3月に策定の「豊川市子ども読書活動推進大綱」（以下「大綱」という。）に基づき、「豊川市子ども活動推進実施計画」（以下「実施計画」という。）を随時更新しながら行っています。この実施計画では、大綱に掲げる3つの基本目標を達成するために、体系化された9つの施策を具体的に推進するための個別の取組を掲げています。

第一次計画では、個別の取組についてその内容や課題を掲げてはいましたが、それぞれについてどの程度の活動を目指すのか、具体的に数値化しておらず、進捗状況を客観的に把握することが困難でした。

そこで、今回の実施計画では、それぞれの取組を「いつ」、「どのぐらい」行うのか、可能な限り明示した上で、その開始からの3年間を「集中取組期間」と位置付け、その期間終了後にその取組を評価し、「継続」、「拡充」、「縮小」、「廃止」などの判断を行う仕組みとしています。

この冊子は、令和元年度の取り組み実績を踏まえ、令和2年度から令和6年度までの5年間を期間（以下「今期」という。）に、今後の取り組みをまとめたものです。

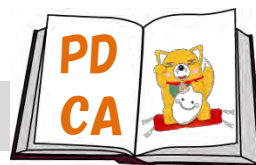


豊川市子ども読書活動推進計画

■■■ 子ども読書推進 実施計画 目 次 ■■■

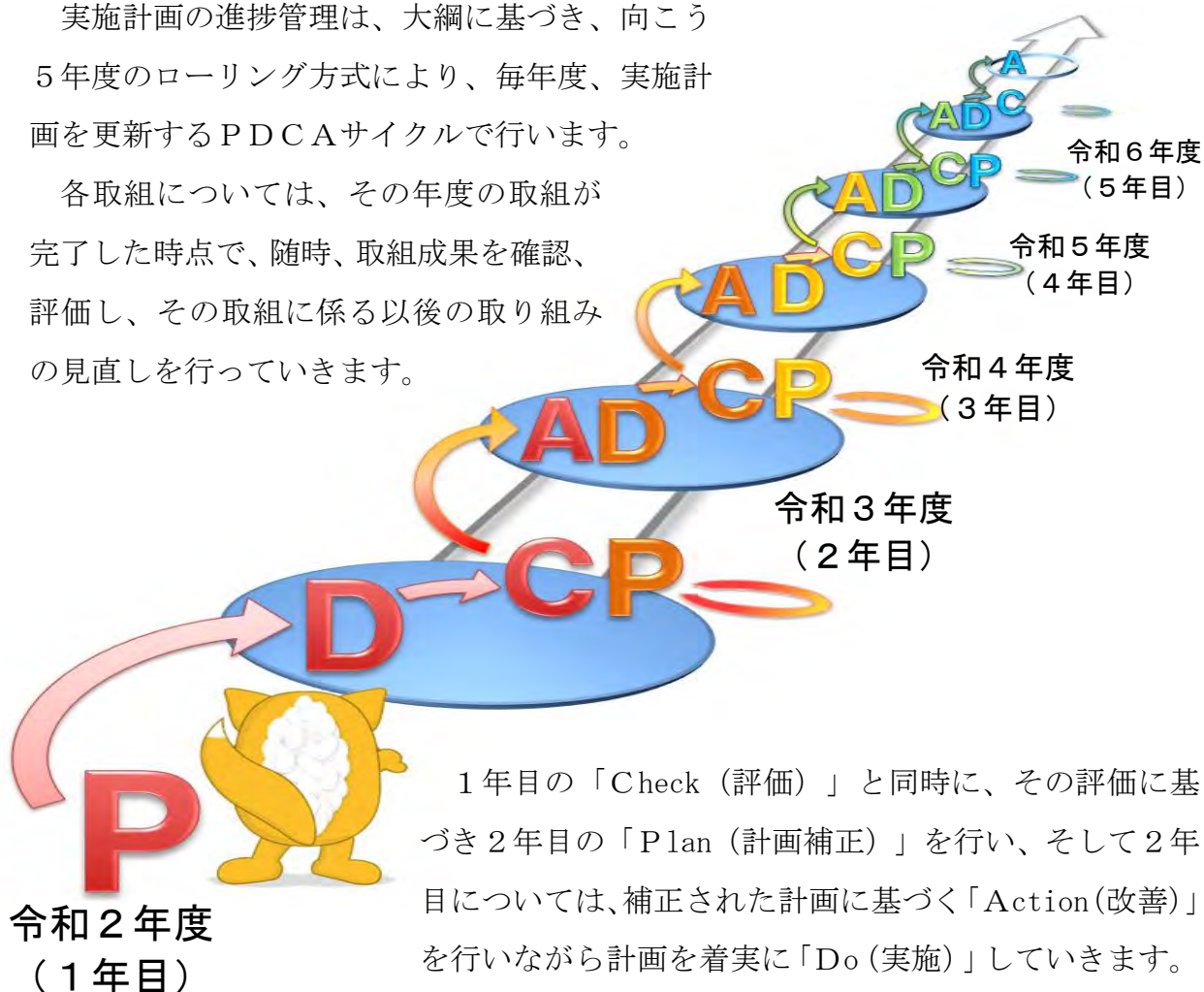
■ 1	進捗管理の仕方	・・・・・・・・・・	2
■ 2	各取組の評価方法	・・・・・・・・・・	2
■ 3	進捗状況報告書の作成	・・・・・・・・・・	3
■ 4	実施計画の見直し（ローリング）	・・・・・・・・・・	4
■ 5	実施計画の公表	・・・・・・・・・・	4
■ 6	今期の重点取組	・・・・・・・・・・	4
■ 7	実施計画進捗管理表（令和元年度～令和5年度）	・・・・・・・・・・	5

■ 1 進捗管理の仕方



実施計画の進捗管理は、大綱に基づき、向こう5年度のローリング方式により、毎年度、実施計画を更新するPDCAサイクルで行います。

各取組については、その年度の取組が完了した時点で、随時、取組成果を確認、評価し、その取組に係る以後の取り組みの見直しを行っていきます。



1年目の「Check（評価）」と同時に、その評価に基づき2年目の「Plan（計画補正）」を行い、そして2年目については、補正された計画に基づく「Action（改善）」を行いながら計画を着実に「Do（実施）」していきます。

■ 2 各取組の評価方法



各取組は、子ども読書活動の推進を達成することが目的ですが、何をもってその目的が達成されたと判断すべきか明確でないため、具体的に測定可能な「指標」を設定する必要があります。「指標」には、その取組によって得ようと期待する「効果」に関する指標と、その効果を得るための行動について掲げた「活動」指標があります。

本来は、「効果」の指標を毎年度測定し、取組の有効性を評価すべきですが、1つの取組の効果が現れるまでには、ある程度の長期に渡る取組が必要で、単一年度の取組だけで効果を測定することは困難です。

また、今回掲げた複数の取組は、それぞれ異なる効果を目指したものであるというわけではなく、ある1つの効果を上げるという共通した目的を持ったものがほとんどです。

そこで、「効果」の指標については、複数の取組について「共通指標」を設定した上で、5年に1度実施する「子ども読書活動に関するアンケート」などの結果から長期的な視点で判定することとし、各取組については、それぞれについて毎年度の「活動」の指標として定めた行動を、計画に定めたとおりに実施できているかどうかを、毎年度チェックし、計画どおりに進んでいないのであれば、その原因を分析した上で、次年度の計画を適切に修正していくこととします。次回の「子ども読書活動に関するアンケート」は、今年度（令和2年12月頃）実施する予定です。



■ 3 進捗状況報告書の作成

前述のとおり、各取組については年度の終了を待つことなく、その取組の結果が明らかになった時点で逐次、取組結果を集計、反省点や課題などの分析を行い、次回に向けての改善案の検討をし、当該取組の「取組名」や「内容」、「備考」などの記述を修正し、計画の見直しを行い、随時、計画を更新していきます。この更新を四半期ごとにとりまとめて進捗管理を行い、担当職員間での情報共有を図ります。

こうして、当該年度に行う予定だった全ての取組が完了した時点で、全体の進捗状況を総合的に評価した「進捗状況報告書」を作成します。令和元年度についての進捗状況の概要は下表のとおりで、詳細は別紙のとおりです。

【平成31年度（令和元年度） 進捗状況報告書 概要】

R1 計画			R1 進捗状況					
内容	件数	実施 対象計	取組結果	件数	達成 件数	達成率	実施 件数	実施率
開始・実施・評価	21	43	◎(計画を10%以上上回る)	15	37	88.4%	42	97.7%
継続・拡充・充実	21		○(ほぼ計画どおり実施)	23				
見直し・改善	1		△(計画を10%以上下回る)	4				
検討・調整 調査・周知	8		－(実施時期未到来)	9	※取組No.35「長年活躍されている読み聞かせボランティアや子ども読書に関連した優れた活動団体の表彰等の奨励」の開始をH30からR4へ先送りのため、実施率が97.7%となった。			
合計	51		合計	51				

■ 4 実施計画の見直し（ローリング）

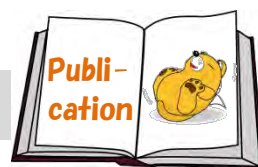


作成した「進捗状況報告書」に基づき、計画の前倒しや目標を現状に合わせて修正したり、状況によっては実施時期の繰り下げなどを行い、前述のとおり毎年度行う向こう5年度のローリングにおいて、実施計画そのものを横断的に見直し、今期の「豊川市子ども読書活動推進実施計画」としてまとめます。

令和元年度は、読み聞かせボランティアに対する独自の表彰制度の設立が困難なことから、1つの取組について実施時期を後年度に先送りしたため、実施率が97.7%となりました。また、目標を10%以上下回った取組4件については、他部署や外部団体の都合によるものもあるため、今後、当該団体等と今後の計画や目標について協議を行い、随時、計画の見直し等を行います。

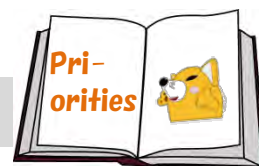
令和元年度までの実績を勘案して見直した今期の実施計画は、「7 実施計画進捗管理表」のとおりですが、令和2年3月以降の新型コロナウイルス感染症による、取組みへの影響が予測しきれないため、随時の目標見直しは一旦、休止しています。

■ 5 実施計画等の公表



見直し、作成した「豊川市子ども読書活動推進実施計画」と「進捗状況報告書」については、より多くの方に見ていただき、意見や要望を聞くことができるよう、市中央図書館のホームページに掲載するなどの方法により、公表し、随時更新します。

■ 6 今期の重点取組



今期は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、イベントの開催や研修への参加、先進自治体図書館への視察などが実施できないため、この状況下でも推進可能な、以下の2つの取組を、重点取組として位置づけます。

【取組 9】ティーンズコーナーの充実

【取組 50】子ども読書に関するアンケートの実施

実施計画 進捗管理表

(令和2年度～令和6年度)



この実施計画では、年度の途中でも随時、当該年度の実績に応じ、次年度以降の目標などの設定を見直す仕組みを採用していますが、令和2年3月以降の新型コロナウイルスの影響が、いつまで継続するか、また、継続した場合にも各年度に与える影響の大きさがどれだけのものになるか、予想することが困難であるため、令和2年度の目標値も含め、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う事業の中止の影響については反映せずに、ローリングを行っています。

進捗管理表の見方

【基本目標1】家庭、地域、学校等における取組の推進

- 施策1 家庭における取組の推進
- 施策2 地域(図書館を含む)における取組の推進
- 施策3 学校等(幼稚園・保育所を含む)における取組の推進

【基本目標2】普及啓発活動の推進

- 施策4 「子ども読書の日」を中心とした普及啓発の推進
- 施策5 子どもの読書活動に関する情報の収集・提供
- 施策6 優れた取組の奨励、優良な図書普及

【基本目標3】子どもが読書に親しむ機会を提供できる連携・協力体制の整備

- 施策7 家庭、地域、学校等相互の連携・協力の推進
- 施策8 図書館間等の連携・協力の推進
- 施策9 子ども読書活動推進体制の整備

※大綱の「施策の体系」に基づき、3つの基本目標と9つの施策に分類しています。

実施計画に掲載する期間は、計画の策定(見直しを含む)年度を基準として、その前年及び次年度以降の5年間の計7年度間とします。
取組のうち、新規に取組を開始するものについては、開始年度を含む当初の3年間で「集中取組期間」と位置付け、その期間が満了した翌年に、その取組の効果等を評価し、継続、拡充、縮小、廃止などの判断を行います。

「関係する課等」
黒丸「●」で始まる課名は、教育委員会所属
白丸「○」で始まる課名は、市長部局の所属

【基本目標1】家庭、地域、学校等における取組の推進

■施策1 家庭における取組の推進

【目指す成果】

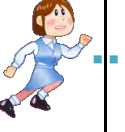
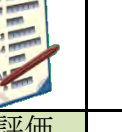
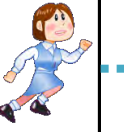
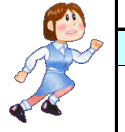
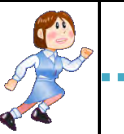
重点取組3

			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
共通指標	効果	読み聞かせの頻度【図表27】 園児の「週に1回以上」(%)	目標	H27(48.8%)から5%増	53.8	—	—	—	—	「うち読」、「ブックスタート」、「乳幼児健診時の普及・啓発」、「読み聞かせ教室事業」などにより実現します。
	実績									
効果	子どもと共に読書する頻度【図表27】 生徒児童の「週に1回以上」(%)	目標	H27(12.2%)から5%増	17.2	—	—	—	—	—	
	実績									

取組名	内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	関係する課等
1 学校の読書週間での「うち読」の周知	毎年5月の学校図書主任会に中央図書館司書が出席し、マイブックプロジェクトや団体貸出しの説明と同時にうち読の推進依頼も行い、学校の読書週間できっかけ作りをし、中央図書館のカードを活用するなどの連携を図ること「うち読」実施家庭を増やす。	前年 ★ 集中取組期間	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課
		実施	評価	継続	継続	継続	継続	継続	備考
指標	活動	「うち読」周知の実施校数(校)	目標	36	36	36	36	36	5月の図書主任会にて全小中学校に推進依頼を行っています。「うち読」の推進について2月の学年通信で紹介する学校もあります。
		実績	36						

取組の進捗具合を判断するための「指標」は、計画的に実現すべき活動の量などを目安として定める「活動」指標と、その結果えらるはずの「効果」指標の2つに区別しています。また、実績を分析し、目標値等を修正や追加した場合には赤字で表示しています。

各年度の行動計画には、「調整」や「検討」、「実施」、「拡充」、「見直し」、「再検討」など、大まかなその年の活動目標が示しており、その内容に応じたイメージのアイコンを表示しています。「いなりん」の表情の微妙な変化は、着実な進捗を願った気持ちです。

【基本目標1】 家庭、地域、学校等における取組の推進											
■施策1 家庭における取組の推進											
【目指す成果】				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	アンケート実施による 次回効果測定は、 令和2年度を予定。
重点取組3	共通 指標	効果	読み聞かせの頻度【図表27】 園児の「週に1回以上」(%)	目標	127(48.8%)から5%増	53.8	—	—	—	—	
		実績									
		効果	子と共に読書する頻度【図表27】 生徒児童の「週に1回以上」(%)	目標	127(12.2%)から5%増	17.2	—	—	—	—	
		実績									
取組名	内容			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	関係する課等
1 学校の読書週間での「うち読」の周知	毎年5月の学校図書主任会に中央図書館司書が出席し、マイブックプロジェクトや団体貸出しの説明と同時にうち読の推進依頼も行い、学校の読書週間できっかけ作りをし、中央図書館のカードを活用するなどの連携を図ることで「うち読」実施家庭を増やす。			前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 5月の図書主任会にて全小中学校に推進依頼を行っています。「うち読」の推進について学年通信で紹介する学校もあります。
				集中取組期間							
											
				実施	評価	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	「うち読」周知の実施校数(校)		目標	36	36	36	36	36	36	
				実績	36	36					
2 「うち読」講演会の開催による普及・啓発	全国組織「家読推進プロジェクト」等から講師を派遣してもらい、「うち読」の効果的なやり方に関する講演会を開催し、「うち読」実施家庭を増やす。			前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 令和元年度は、開館20周年記念事業を兼ねて、絵本作家こんのひとみさん、原ゆたかさん、メルヘンハウスの三輪丈太郎さんによる講演会を開催しました。講師料等が必要なので、予算の確保などの調整が必要です。
				集中取組期間							
											
				実施	実施	評価					
指標	活動	「うち読」講演会開催回数(回)		目標	1	1	検討中				
				実績	1	3					
3 「うち読」ノートの改良、配布方法の見直し	取組開始から年数が経過し、当初ほど「うち読」ノートの配布や活用がされなくなっているのを改善するため、ノートのデザインの見直し等の改良を行うとともに、中央図書館での配布方法の見直しを行い、「うち読」実施家庭を増やす。			前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 開館20周年記念事業として、新しいデザインの「うち読」ノートを印刷製本し、「うち読」講演会の際などに配付したほか、常設のうち読コーナーの他、「うち読」に関する展示にて配布しました。
				集中取組期間							
											
				開始	検討	見直し	評価				
指標	活動	「うち読」ノートのデザイン等見直し(回)		目標	1		1				
				実績	1						
指標	活動	「うち読」ノート配布冊数(冊)		目標	430	500	500				
				実績	500	550					
4 4か月児健康診査の待ち時間を利用した「ブックスタート」事業の実施(継続)	健康診査の順番待ちの時間を利用して、ボランティアによる絵本の読み聞かせや家庭での読み聞かせへのアドバイスを行うとともに、「ブックスタートパック」(2冊の絵本から1冊を選択)を配布し、読書活動のきっかけづくりに役立ててもらう。			前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○子育て支援課 ○保健センター 備考 配布人数は、4か月児健康診査の受診状況によるため、コロナ禍による令和2年3月の検診が中止されたことを勘案し、R1の目標値を12分の11に修正しています。
											
				継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				目標	36	33	36	36	36	36	
指標	活動	実施回数(回)		実績	36	33					
				目標	1,650	1,420	1,550	1,550	1,550	1,550	
指標	活動	「ブックスタートパック」配布人数(人)		実績	1,548	1,285					
				目標							
5 乳幼児の保護者向け講座「絵本で子育て楽しんでみませんか」の開催(継続)	ブックスタートの次のステップとして、4か月から12か月までの乳幼児とその保護者を対象とした、絵本を使って子どもとのコミュニケーションを図るための講座を開催し、家庭での読書活動のきっかけづくりに役立ててもらう。			前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 第一次計画以前から実施している継続事業です。対象が12か月までの乳幼児とその保護者に限定されているため、当面、現状の維持につとめます。
											
				継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				目標	2	2	2	2	2	2	
指標	活動	実施回数(セット) ※1セットあたり3回構成の講座		実績	2	2					
				目標	100	100	100	100	100	100	
指標	活動	講座への参加者数(組) ※乳幼児とその保護者の組参加		実績	94	114					
				目標							

(基本目標1)

■施策2 地域(図書館を含む)における取組の推進

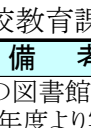
【目指す成果】				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	アンケート実施による次回効果測定は、令和2年度を予定。また、マンガ・ラノベコーナー(貸出不可)の閲覧の効果はどう評価するか要検討
重点取組4	共通指標	効果	ティーンズ図書の年間貸出冊数(冊)	目標	126(11,835)	12,426					
				実績	から5%						
重点取組1	効果	読書好きな子どもの割合【図表1】	目標	127(57.増)	から5%増	62.7					
		児童生徒の「好き」以上「(%)	実績								
取組名		内容		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	関係する課等
6	指標	活動	絵本にふれるきっかけとして、乳幼児健康診査の待合室などに絵本を設置	前年	★	1年目	2年目	3年目	3年目	5年目	○保健センター ●中央図書館 備考 引き続き「図書館だより」を毎月絵本コーナーに設置しています。今後は古く傷んだ図書の整備なども検討する必要があります。
				集中取組期間							
				拡充	評価	継続	継続	継続	継続	継続	
				目標	40	45	50	50	50	50	
7	指標	活動	2歳児歯科健康診査の会場で、受診までの待ち時間を利用して、ボランティアによる「絵本の読み聞かせ」や「手遊び」などを行い、読書活動の普及・啓発を図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○子ども課 ○保健センター 備考 参加人数は、2歳児歯科健康診査の受診状況によるため、コロナ禍による令和2年3月の検診が中止されたことを勘案し、R1の目標値を12分の11に修正しています。
				継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				目標	36	33	36	36	36	36	
8	指標	活動	公民館や児童館で「読み聞かせ教室」を開催	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	○子育て支援課 備考 この取り組みの活動指標の対象は「読み聞かせ教室」のみです。児童館での「読み聞かせ」については、基本目標3・施策7の取組番号37番の指標の対象として別掲しています。
				継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				目標	56	56	56	56	56	56	
9	指標	活動	ティーンズコーナーの充実	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 「マンガ・ラノベコーナー」に新シリーズや、所蔵本の続巻を入れるなど蔵書の充実を図るとともに、新着本やお薦め本のPRなどの工夫もしています。
				継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				目標	7,600	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	
10	指標	活動	ティーンズ向け図書の人気作家を招いた講演会等の開催	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 書店を通じて招致を試みっていますが、予算等を含め、調整が困難なため、見通しがつくまで、当面の実施を見送っています。
				調整	調整	調整	調整	開始	実施	実施	
				目標	—	—	—	1	1	1	
11	指標	活動	小学生から高校生までの総合学習や調べ学習に必要な資料の収集と提供	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 引き続き、小学校で総合学習や調べ学習に使用する資料を見直し、購入したほか、児童用の郷土資料も積極的に収集しています。
				継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				目標	50	50	50	50	50	50	
12	指標	活動	児童向け点字図書や音声図書の充実	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 児童向けの点字図書やLLブック、音声図書の積極的な購入に努めました。電子書籍の音声図書は、販売状況や蔵書構成などによるため、その状況に応じて、目標を随時、調整しています。
				継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
				目標	5	5	5	5	5	5	

2

	取組名	内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	関係する課等	
13	外国語図書の収集と排架	市内在住の外国語を日常語とする児童生徒や帰国児童・生徒のため、外国語の絵本や児童書の充実を図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
											備考 児童向けの外国語図書の収集にも心掛けました。
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
			指標	活動	外国語図書の受入冊数(冊)	目標 実績	140 136	140 172	140	140	140
	活動	外国語図書の排架冊数(冊)	目標 実績	8,100 8,206	8,100 8,378	8,200	8,200	8,200	8,200 8,200		
14	子どもの読書活動に関する講演会の実施	子どもの読書に関する保護者や図書館職員、学校関係者の理解を深め、子どもの読書活動の推進を図るとともに、子どもに対しては本を読む楽しさや意義を伝え、豊かな心を育んでもらう。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
			集中取組期間								備考 令和元年度は、開館20周年記念事業を兼ねて、絵本作家こんのひとみさん、原ゆたかさん、メルヘンハウスの三輪丈太郎さんによる講演会を開催しました。
											
			開始	実施	実施	評価					
指標	活動	実施回数(回)	目標 実績	1 1	1 2	1	1				
15	読み聞かせボランティア等養成講座の開催	読み聞かせボランティアの養成講座を開くとともに、その読み聞かせ技術を向上していただくためのスキルアップ講習会を開催し、読み聞かせボランティアの人材の充実を図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
											
			継続	継続	検討	見直し	継続	継続	継続		
			指標	活動	実施回数(回)	目標 実績	1 1	1 1	1	1	1
	活動	参加人数(人)	目標 実績	46 24	30 19	30	30	30	30 30		
16	子ども向け手作り絵本講座の開催	子どもが自ら絵本を手作りすることで、より絵本への関心や愛着を深めてもらうことを目的として、「手作り絵本講座」を開催する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
											
			継続	継続	検討	見直し	継続	継続	継続		
			指標	活動	実施回数(回)	目標 実績	2 2	2 2	2	2	2
	活動	参加人数(人)	目標 実績	55 67	55 40	55	55	55	55 55		
17	先進自治体図書館の視察や子ども読書に関する研修への参加による児童図書担当職員の育成	過去に子ども読書活動について文部科学大臣の表彰を受けた図書館や特色ある子ども読書活動を行う先進自治体図書館を視察したり、愛知県図書館などが主催する子ども読書に関する研修会へ積極的に参加し、児童書担当職員のスキルアップを図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
											備考 令和元年度は、研修会よりも子ども読書関係の先進自治体図書館の視察に重点を置いて取り組みました。
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
			指標	活動	先進自治体図書館の視察(回)	目標 実績	1 4	1 8	1	1	1
	活動	子ども読書に関する研修会参加回数(回)	目標 実績	2 3	2 1	2	2	2	2 2		
18	「学校の日」の代休の休校日の月曜日に市の図書館を児童・生徒向けに開放	「学校の日」は土曜日に行われるため、翌週月曜日が代わりに休みとなり、子どもたちが長時間図書館を利用できる絶好の機会であることから、図書館を児童・生徒向けに開放する。(全市共通の「学校の日」は、5月と1月の各第3土曜日)	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課	
							集中取組期間				備考 H27から開館日を増やしたばかりで、さらなる開館日の増加は直ぐには困難なため長期的な視野で検討します。
			検討	検討	検討	調整					
			指標	活動	実施回数(回)	目標 実績	— —	— —	—	1	1
19	「ブックトーク」の実施	子どもたちに本や読書の楽しさを知ってもらうために、あるテーマにそって何冊かのさまざまなジャンルの本を順序だてて紹介する「ブックトーク」を開催する。(希望を募り、子どもたち自身による「ブックトーク」を開催することも検討する。)	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課	
						集中取組期間				備考 令和元年度は、ボランティアによるブックトークを、開館20周年記念・夏の図書館まつりで1テーマにより開催。引き続き職員による開催を目標とします。	
			検討	検討	調整				評価		
			指標	活動	実施回数(回)	目標 実績	(3)※ (1)※		1	1	1
20	図書館ボランティアによる「おはなし会」の実施	絵本で子育てを楽しんでもらえるよう、図書館ボランティアによる定例の「絵本の読み聞かせ」や「紙芝居」、「エプロンシアター」などの各種講座のほか、読書週間や図書館まつりなど様々な機会に「おはなし会」を開催する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
											備考 コロナ禍により令和2年2月末から開催が中止されたことを勘案し、R1の目標値を12分の11に修正していますが、暦の関係で元々、例年より回数が少なく、また、1月中旬からコロナ禍の影響で参加人数が減少傾向となりました。
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
			指標	活動	合計実施回数(回)	目標 実績	200 240	185 201	200	200	200
	活動	合計参加人数(人)	目標 実績	5,200 5,533	4,770 4,225	5,200	5,200	5,200	5,200 5,200		

(基本目標1)

■施策3 学校等(幼稚園・保育所を含む)における取組の推進

【目指す成果】			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	※「不読率」とは、アンケートで「ほとんど本を読まない」と回答した児童・生徒又は保護者から見たあまり本を読んでいる園児の割合をいいます。 アンケート実施による次回効果測定は、令和2年度を予定。	
重点取組2	共通指標	効果	不読率の減少【図表2】 小学4～6年(%)	目標	27(14.7%)から10%減	4.7	-	-	-		-
		効果	不読率の減少【図表2】 中学生(%)	目標	27(22.4%)から5%減	17.4	-	-	-		-
		効果	不読率の減少【図表2】 高校生(%)	目標	27(46.3%)から3%減	43.3	-	-	-		-
		効果	不読率の減少【図表25】 保護者から見た園児(%)	目標	27(29.4%)から5%減	24.4	-	-	-		-
		効果	不読率の減少【図表25】 保護者から見た小学4～6年(%)	目標	27(50.3%)から10%減	40.3	-	-	-		-
			実績								
取組名	内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	関係する課等		
21	マイブックプロジェクトの実施	中学2年生に、中央図書館が提供する一定金額分の図書購入券を配布し、子ども自らが書店で本を選び、購入し、読み終えたら読んだ本の紹介メッセージを付けて学級文庫に入れ、級友や他のクラスの生徒とも読み合うことで、子どもが積極的に本と触れ合えるようにする。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課	
											備考 当初は実施後3年で廃止を含めた見直しを行うものとされていたが、継続を望む声が強いため、今後も継続していきます。
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	生徒参加率(%)	目標	97.0	97.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	
			実績	95.7	96.5						
22	朝読の推進	朝、授業が始まる前の時間を利用して、子どもたちが読みたい本を読める場を設けることで、子どもたちに読書をする習慣を身に付けてもらうことを目的として、朝読(朝の読書活動推進運動)を実施する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課	
											備考 基礎学力向上のために、朝の時間をドリル学習に利用する学校もあるため、どのように朝読を推進するか継続的な検討が必要です。
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	朝読実施校数(校)	目標	36	36	36	36	36	36	36	
			実績	36	36						
23	保育園へ、子ども用の図書や紙芝居などを貸し出す「おやこ文庫」の実施	図書や紙芝居などが常に子どもの身近にある環境をつくるため、保育園等へ「おやこ文庫」を貸し出し、子どもたちの読書への関心を高める。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○子ども課	
											備考 その年の園の事情によって希望しない場合があるため、年度により参加園は異なりますが、引き続きPRをして参加を促します。
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	保育園等へのPR回数(回)	目標	2	2	2	2	2	2	2	
			実績	2	2						
指標	活動	対象保育園数(園)	目標	36	36	36	36	36	36	36	
			実績	35	37						
24	学校図書館の利用を高めるための協議の場の設置	子ども読書に関するアンケートを実施した結果、子どもたちの声として「学校図書館の利用時間が十分でない」との意見が目立ったため、その声に対応するための協議の場を設け、延長の可否を検討する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課	
			集中取組期間								備考 学校現場の事情もあり、容易には利用時間の延長等ができないため、関係機関で十分に協議を行います。
			実施	実施	評価	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	協議会の開催回数(回)	目標	1	1	1	1	1	1	1	
			実績	1	1						
25	小中学校全校の「学校図書館図書標準」充足率100%以上を実現	小中学校の各学校図書館の適正な蔵書数の基準として、文部科学省の定めた「学校図書館図書標準」に沿って、その充足率が100%を超えるように整備を行う。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課	
			集中取組期間								備考 除籍対象の古書を廃棄しなければ充足率は高められるますが、子どもたちが使いやすい学校図書館とするため、除籍を適正に行ったうえで、図書の充実を図る必要があります。 *年により調査時期が異なり、H29・30・R元年度は調査を実施していません。
			実施	実施	評価	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	充足率100%以上の学校の割合(%)	目標	50	60	70	80	80	80	80	
			実績	*未調査	*未調査						
指標	活動	除籍図書数(冊)	目標	-	-	-	-	-	-	-	
			実績	*未調査	*未調査						
26	小・中・高の各学校の課外授業やカリキュラムの一つとして、市の図書館の見学会を実施	小学生から高校生までを対象に、図書や読書への関心を高めてもらうことを目的とした、図書館見学会を実施する。(中央図書館や各分館の徒歩圏内の学校の一部で既に実施中)	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課	
										備考 No.41の図書館体験会(H30年度より実施)も含みます。調整に時間を要するため、集中取組期間を繰り下げています。	
			調整	調整	調整	拡充	充実	充実	評価		
指標	活動	実施校数(校)	目標	5	5	5	10	10	10	10	
			実績	4	6						
指標	活動	参加人数(人)	目標	140	150	150	200	200	200	200	
			実績	136	149						

【基本目標2】普及啓発活動の推進

0.0

■施策4 「子ども読書の日」を中心とした普及啓発の推進

【目指す成果】			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	普及啓発を目的とするため、貸出冊数ではなく、来館者数や利用者を効果指標に設定します。 ※令和2年3月2日から臨時休館	
共通指標	効果	市の図書館来館者数(人)	目標	589,000	594,500	600,000	600,000	600,000	600,000		600,000
		実績	678,341	619,270							
		効果	市の図書館児童利用者数(人)	目標	96,000	98,000	100,000	100,000	100,000		100,000
実績	94,205		85,379								

取組名	内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	関係する課等	
27 図書館検定の実施	子どもたちに図書館や読書への興味や関心を抱いてもらい、図書館への来館のきっかけとなるよう、図書館でのマナーや図書に関する知識を設問とした「図書館検定」を実施する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
										備考
		評価	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	図書館の効果的なPRとなるよう、引き続き設問の内容などについて検討を行います。
		指標	活動	参加者数(人)	目標	700	900	900	900	900
実績	964			1,001						

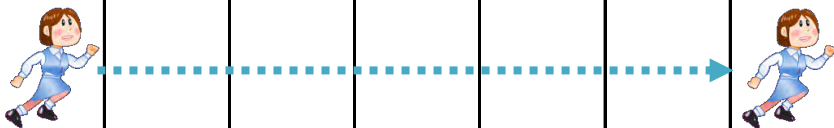
28 読書週間等の行事の充実を図るため「まんが、ライトノベル、アニメデー」を開催	4月23日の子ども読書の日を中心とした春の読書週間や10月27日の文字・活字文化の日を中心とした秋の読書週間に、子ども参加型のイベントとして、まんがやライトノベル、アニメに関するイベントを開催する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
		集中取組期間							備考
					評価	継続	継続	継続	令和元年度は、開館20周年記念「夏の図書館まつり」にて、TVアニメでも人気の「かいけつゾロリ」の作者、原ゆたか先生を招いた講演会を開催。
		開始	実施	実施	評価	継続	継続	継続	継続
指標	活動	開催回数(回)	目標	1	1	1	1	1	1
		実績	1	1					

29 「図書館まつり」の開催	これまで読書週間などを中心として複数の日に分散して行っていた各種関連イベントを、「図書館まつり」として特定の日又は期間に集約して、様々なイベントを同時に楽しむことができるようにし、相乗効果で読書への関心を高める。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館	
		集中取組期間							備考	
			実施	評価	継続	継続	継続	継続	継続	夏と秋の2回の図書館まつりを実施しました。令和元年度は、開館20周年記念として、有名絵本作家を招いたお絵かき教室の開催など、各種イベントを充実して行っています。
		活動	開催回数(回)	目標	2	2	2	2	2	2
指標	活動 <td>内包する関連イベント数(種)</td> <td>目標</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td>	内包する関連イベント数(種)	目標	15	15	15	15	15	15	
		実績	27	43						

■施策5 子どもの読書活動に関する情報の収集・提供													
【目指す成果】				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	アンケート実施による 次回効果測定は、 令和2年度を予定。		
指標	効果	ボランティア講座認知度【図表36】	目標	27(71.5%)から10%減	61.5								
		「知らなかった」の割合(%)	実績										
取組名				内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	関係する課等	
30	市図書館のホーム ページに子ども読書 活動の関連事業や 実施計画の取組状 況などを掲載する専 用ページを設置	「読み聞かせボランティア講座」の開催 情報や、この実施計画に掲載の各種取 組とその進捗情報、おすすめ図書、各 種ボランティアの活動状況など、子ども 読書活動に関連する情報を集約し、保 護者等へ提供する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館			
			集中取組期間										備考
													引き続き、ホームペー ジ全体を、より子ども向 けのデザインに改良し ました。
			充実	充実	評価	継続	継続	継続	継続	継続			
			指標	活動	掲載コンテンツ数(件)	目標	12	12	12	12	12	12	12
			実績	12	12								
31	子ども読書関連活動 を行うボランティアの 情報を収集し、生涯 学習情報システム 「学びネットあいち」 へ情報提供	読み聞かせボランティアや図書館登録 団体などの要望の有無をリサーチした 上で、ボランティアや団体が主催する講 座や催しなどの情報の周知について、 「学びネットあいち」への情報提供(掲載 依頼)を代行する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館			
								集中取組期間			備考		
								まず、いくつかの団体に 希望の有無を確認し、そ の後すべての関係団体等 に周知を行った上で実施 する必要がありますが、 次のNo.32と合わせて行う よう、実施時期を先送っ ています。					
			調整	調整	調整	調整	開始	実施	実施				
			指標	活動	情報提供件数(件)	目標					5	10	15
			実績	—	—								
32	市生涯学習情報サイ ト「まなびネットとよ かわ」に中央図書館や 分館での関連ボラン ティアや団体の情報 を掲載	生涯学習課が管理する「まなびネットとよ かわ」に、中央図書館や分館で開催され る読み聞かせ事業やボランティア養成 講座、図書館登録団体の活動情報など も掲載してもらうように、生涯学習課と調 整する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●生涯学習課			
								集中取組期間			備考		
								システム改修等が必要 になる場合もあるため、 長期的な視野で調整を 行います。					
			検討	検討	調整	調整	開始	実施	実施				
			指標	活動	情報提供件数(件)	目標					10	10	10
			実績	—	—								
33	外国人の保護者へ の市の図書館のPR	学校へ通っている子どもは日本語を話 せる子がほとんどだが、その保護者は母 国語しか話せないケースが多い。子ども と図書館へ来館する機会を増やすた め、子ども連れの外国人利用者を増や すことを目的として外国語の本の所蔵を PRする。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○市民協働国際課			
			集中取組期間									備考	
												図書館利用ガイドの英 語とポルトガル語版を 作成し、外国人保護者 へ学校を通じて配布。	
			開始	実施	実施	評価	継続	継続	継続				
			指標	活動	外国人保護者へのPR回数(回)	目標	1	1	1	1	1	1	1
			実績	1	1								

■施策6 優れた取組の奨励、優良な図書の普及

【目指す成果】				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	企画展示などで紹介した 図書が、実際に子どもた ちに借りられることを目指 して指標を設定します。 ※令和2年3月2日から臨 時休館
共通 指標	効果	市の図書館児童利用者数(人)	目標	96,000	98,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	
			実績	94,205	85,379						
	効果	市の図書館児童図書貸出数(冊)	目標	399,000	399,500	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	
			実績	475,710	437,296						

取組名	内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	関係する課等
34 中央図書館エントラ ンス等での児童図書 等の特別企画展示 の開催	子どもたちが読書に興味を持つきっかけ づくりに、日本絵本賞をはじめとする、前 年度の児童図書に関する各種受賞作品 や、市民団体の手作り絵本、子どもたち の興味をひく仕掛け絵本などを展示す る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
									備考
		継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	令和元年度は、中央図 書館の年度目標として 児童向けの展示の増 加に重点的に取り組 み ました。
	指標	活動	企画展示開催回数(回)	目標 30 実績 48	30 50	30	30	30	30

35 長年活躍されている 読み聞かせボラン ティアや子ども読書 に関連した優れた活 動団体の表彰等の 奨励	子ども読書活動の推進に貢献している ボランティアや団体の活動を奨励するた め、文部科学大臣表彰の対象として推 薦したり、市図書館独自の表彰を行うな どし、さらなる子ども読書活動の推進を 図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
		集中取組期間		集中取組期間			備考		
								既存の制度について は、年によって対象とな る条件によってはまる 団 体がない場合がある ため、今後、独自の表 彰制度についての検討 を行います。	
	指標	活動	表彰又は推薦の対象数(件)	目標 1 実績 2	1 0	0	1	1	1

36 児童・生徒に優良な 本に関する情報を提 供するため、各年齢 層別の「おすすめの 本紹介リーフレット」 等を作成、配布	市の図書館司書や保護者、大学生など が児童・生徒にすすめる本や、高校生 から小・中学生、児童・生徒同士が互い にすすめ合う本などをリーフレットや冊 子にまとめ、市の図書館などで配布す る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館
		集中取組期間		備考					
								現在、「うち読のすす め本」や「子どもの日 読書展」などで期間を 区 切ったリーフレットの 配 布も実施しています が、本取組の対象は通 年での実施です。	
	指標	活動	おすすめ本リーフレット発行数 (回)	目標 1 実績 1	1 1	1			

【基本目標3】子どもが読書に親しむ機会を提供できる連携・協力体制の整備

■施策7 家庭、地域、学校等相互の連携・協力の推進

取組名		内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	関係する課等
37	児童館・児童クラブ・公民館・市民館等への団体貸出・読み聞かせの実施	子どもの身近な場所における読書環境を整備するため、学校以外の子どもが多く集まる施設に図書の貸出を行い、出来るだけ市内の多くの場所で読書ができるようにする。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ○子ども課 備考 コロナ禍により令和2年2月末から開催が中止されたことを勘案し、R1の目標値を12分の11に修正しています。
										
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	読み聞かせ参加人数(人)	目標	3,500	3,210	3,500	3,500	3,500	3,500	
			実績	3,769	3,075					
38	図書館等利用案内の作成・配布	子ども向けの図書館利用案内を作成し、新着本や推薦図書の紹介、イベントの開催などの情報を保育園や学校へ配布するとともに、市図書館ホームページに掲載する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 毎月1回の発行のほか夏休み直前の特別号を1回、春と秋の図書館まつりの案内を各2回、合計15回発行しました。
										
			見直し	改善	見直し	改善	見直し	改善	見直し	
指標	活動	子ども向け図書館だより発行回数(回)	目標	15	15	15	15	15	15	
			実績	15	15					
39	中学校・高校・教職員・企業の社員等の職場体験学習(実習)の実施	図書館司書の業務と、公共図書館運営への理解と関心をもってもらうために、中学生、高校生、教職員又は企業の社員を対象とした体験学習の受け入れを実施する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 生徒だけでなく、学校の教職員や企業などの社員からも職場体験研修の希望があれば受け入れています。
										
			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	職場体験参加人数(人)	目標	25	25	25	25	25	25	
			実績	33	30					
40	学校と市図書館双方の図書ボランティア及び読み聞かせボランティアの交流、連携	各学校と中央図書館等の図書ボランティアや読み聞かせボランティアの交流や連携を行い、ノウハウの共有や相互のスキルアップを図る。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 学校図書ボランティア宛てに、図書館で開催されるブックトークなどに参加して交流を図ってもらえるような案内を通知。
			集中取組期間							
			開始	実施	実施	評価	継続	継続	継続	
指標	活動	交流、連携方法の検討会議開催回数(回)	目標	1	1	1	1	1	1	
			実績	1	1					
41	市の図書館に各学校の児童・生徒を貸切バス等で招き、本の借り方などを学べる図書館体験会を開催	中央図書館や各分館の近くの学校では、徒歩による図書館見学会を行っているが、遠くの学校にも、プラネタリウム見学などと合わせ市の図書館が貸切バスを用意して児童・生徒を招くとともに、見学だけでなく本の探し方や借り方を学べる図書館体験会を開催する。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 小学4年生のプラネタリウム見学の機会を利用し、図書館活用方法などを学ぶ図書館体験会を実施しています。
			集中取組期間							
			開始	実施	実施	評価	継続	継続	継続	
指標	活動	実施学校数(校)	目標	1	3	5	5	5	5	
			実績	1	4					
42	特別支援学校等との連携	障害のある子どもを含む全ての子どもが、読書に親しみ、読書好きになるためのきっかけづくりとして、市内外の特別支援学校等と連携を図り、できるだけ多くの子どもたちに図書館サービスを体験してもらう。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 参加人数は、その年の生徒の状況や、学校の都合によるため、近年の実績を勘案し、目標を20に修正しました。
			集中取組期間							
			実施	評価	継続	継続	継続	継続	継続	
指標	活動	連携実施校数(校)	目標	1	1	1	1	1	1	
			実績	1	1					
指標	活動	参加児童・生徒数(人)	目標	25	25	20	20	20	20	
			実績	13	19					
43	地域の文庫活動の活発化	子どもたちの周りに常に本がある環境をつくるため、市内の地域文庫活動を掘り起し、市図書館ホームページなどで周知を図り、地域文庫活動を活発にする。	前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 備考 令和元年度は、開館20周年記念に作成した新しい「うち読」ノートに、地域文庫活動をされている中谷さんのコメントを掲載した。
			集中取組期間							
			開始	実施	実施	評価	継続	継続	継続	
指標	活動	地域文庫紹介件数(件)	目標		1	1	1	1	1	
			実績	1	1					

(基本目標3)

■施策8 図書館間等の連携・協力の推進

取組名		内容		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	関係する課等	
44	学校図書館のネットワーク化に向けて、関係課の協議の場を設ける	学校図書館の図書について、ネットワーク化を図ることで、自校の学校図書館だけでなく、他校や市の図書館まで含めた地域全体の蔵書を対象とした検索や、図書の共同利用を可能とするための協議の場を設ける(市の図書館については、以前からインターネット上で誰でも検索可能。)		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●庶務課 ●学校教育課 備考 引き続き関係課との協議を実施します。	
				集中取組期間								
				実施	実施		評価					
指標	活動	ネットワーク化検討協議の開催回数(回)	目標	1	1							
			実績	1	1							
45	市の図書館司書と司書教諭、巡回司書、との連携、情報交換	学校巡回司書ミーティングや図書主任会などの場を利用して、中央図書館の司書と学校の司書教諭、巡回司書が、子どもの読書活動の推進に関する情報交換や新着本、推薦図書などの情報提供などを行う。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 市の司書教諭や巡回司書との情報交換を随時実施。市内高等学校の司書とも情報交換の場を持ち、連携を図っています。	
				継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		継続
				2	2	2	2	2	2	2		
指標	活動	情報交換等実施回数(回)	目標	2	2							
			実績	4	4							
46	学校図書館における図書委員育成のための取組を協議する場の設置	学校図書館の活用方法を、子どもたちが自身が提案し、授業や調べ物に積極的に活用できるようにするため、その提案を中心に立つて行う図書委員の育成を図るために、関係する機関での協議の場を設ける。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 令和2年3月に学校教育課の担当者と協議し、図書委員育成を図るための取組について検討しました。	
				集中取組期間								
				実施	実施		評価					
指標	活動	協議会の開催回数(回)	目標	1	1							
			実績	1	1							
47	学校司書、司書教諭、巡回司書の適正配置計画の策定のための協議の場の設置	学校図書館の運営の改善及び向上を図り、利用の一層の促進に資するため、専任の学校司書を置くことを定めたH26改正の学校図書館法第6条に基づき、計画的に適正な配置を行うため、学校教育課と中央図書館との協議の場を設ける。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 H29年度に学校図書館巡回司書の1日の勤務時間を4時間から2時間増やした6時間とするなどの充実が図られた。	
				集中取組期間								
				実施	評価							
指標	活動	学校司書等の適正配置計画策定協議開催数(回)	目標	1	1							
			実績	1	1							
48	中央図書館から学校への団体貸出のセット内容を見直す協議の場の設置	第一次計画に基づき継続中の、中央図書館から各学校への団体貸出用の図書セットについて、教科書の更新等に伴う内容変更に対応するため、中央図書館司書と学校の主任会との協議の場を設ける。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 今後も、学校巡回司書とも意見交換を行い、貸出セットの内容を見直し、セットの追加、セット内容の要望などのアンケートを実施を継続します。	
				集中取組期間								
				実施	評価		継続	継続	継続	継続		継続
指標	活動	団体セット内容見直し協議の開催数(回)	目標	1	1	1	1	1	1			
			実績	2	2							
49	「読書週間」等について、中央図書館のイベント情報や各学校での取り組みなどを相互に紹介し合う啓発活動を実施	現在は、それぞれ単独で実施している読書週間のイベントや取組について、互いに情報交換をすることで、読書啓発の効果をより高める。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課 備考 学校教育課の担当者と協議し、教員の負担が増えない形での実施を検討、調整するため、実施時期、集中取組期間を先送りしています。	
								集中取組期間				
					調整	調整	調整	調整	開始	実施		実施
指標	活動	学校での中央図書館イベント紹介(回)	目標					1	1	1		
			実績	—	—							
指標	活動	中央図書館での学校取組紹介数(校)	目標					1	2	4		
			実績	—	—							

(基本目標3)

■施策9 子ども読書活動推進体制の整備

取組名		内容		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	関係する課等		
50	子ども読書に関するアンケートの実施	実施計画の取組の効果等を測定するため、当面の間、5年に1回の頻度で、市内の小・中学校及び高校から数校ずつを選び「子ども読書活動に関するアンケート」を実施するとともに、保育園児や小学生の保護者についても同様のアンケートを行う。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館 ●学校教育課		
				前回実施H27									
													備考 アンケートは5年おきに実施します。内容や頻度、対象者などについては、今後、進捗管理に合わせて見直しを行います。
								実施					
	指標	活動	アンケート実施回数(回)	目標									
				実績	—		1						

51	実施計画の進捗管理	向こう5年度のローリング方式により、この実施計画に掲載の各取組について、毎年、前年度の進捗状況を評価するとともに、必要に応じて計画を見直し、各取組の実効性を高める。		前年	★	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	●中央図書館		
													備考 取組の実施に合わせ随時進捗管理をしていますが、四半期ごとに進捗状況を取りまとめ、図書館職員内での情報の共有化を図っています。
						実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
	資料	活動	進捗管理の実施回数(回)	目標	4	4	4	4	4	4			
				実績	4	4							